

2023 年度前期授業アンケート集計結果（全体的特徴）

	2023 年度前期				2022 年度前期			
	教員数		講義数		教員数		講義数	
	対象	実施	対象	実施	対象	実施	対象	実施
専任	65	65	182	175	66	66	188	182
非常勤	48	48	81	81	52	50	90	86
総合計	113	113	263	256	118	116	278	268

※看護学部実習科目については、別アンケートを実施しています

【属性】

アンケートに答えた学生（延べ回答者数）の内訳は、次表のとおり

学部学科別人数・構成比			
学部	学科	人数	構成比
経済学部	経済学科	771 名	12.2%
	公共政策学科	521 名	8.3%
経営学部	スポーツ経営学科	2552 名	40.4%
	情報メディア学科	1222 名	19.4%
看護学部		1245 名	19.7%
計		6311 名	100.0%

学年別人数・構成比		
学年	人数	構成比
1 年次	2536 名	40.2%
2 年次	2005 名	31.8%
3 年次	1348 名	21.4%
4 年次	381 名	6.0%
5 年以上	41 名	0.6%
計	6311 名	100.0%

学部学科別人数・回答率			
学 科	受講人数	回答人数	回答率
経済学科	1410 名	771 名	54.7%
公共政策学科	1178 名	521 名	44.2%
スポーツ経営学科	4731 名	2552 名	53.9%
情報メディア学科	2505 名	1222 名	48.8%
看護学部	2656 名	1245 名	46.9%
計	12480 名	6311 名	50.6%

延べ回答者数／延べ受講者数＝回答率

6,311／12,480＝50.6%（2022 年度前期：42.8%）

【授業アンケートの実施率と回答率】

○教員数でみた授業アンケート実施率（＝アンケート実施教員数／アンケート対象教員数）は、オンラインで授業アンケートを実施するようになって初めて 100.0%（＝113/113）となった。なお、昨年度前期 98.3%（＝116/118）、前回（昨年度後期）98.3%（＝113/115）である。専任、非常勤教員問わず、授業アンケートの依頼に協力していただいたことが分かる。

○講義数でみた授業アンケート実施率（＝アンケート実施講義数／アンケート対象講義数）

は 97.3% (=256/263) で、昨年度前期 96.4% (=268/278)、前回 (昨年度後期) 95.1% (=368/387) より上昇した。うち、専任教員の講義は 96.2% (=175/182)、非常勤の講義は 100.0% (=81/81) である。**教員からの授業アンケートの依頼が講義内で概ね周知されていた**と言える。なお、専任教員数でみた授業アンケート実施率よりも専任教員講義数でみた授業アンケート実施率が低下するのは、少なくない少人数講義の存在に起因する。

○学生の回答率 (=延べ回答者数/延べ受講者数) は 50.6% (=6,311/12,480) であり、昨年度前期 42.8% (=5,938/13,881)、前回 (今年度後期) 33.4% (=4,494/13,459) より上昇した。遠隔授業を実施している中でのアンケート実施と対面授業を実施している中でのアンケート実施では、2021 年度後期の回収率が特に低かったことを除けば、その回収率に大きな増減はなく、**アンケート実施期間の授業形態が回収率に影響することはない**と考える。

○オンラインで授業アンケートを実施するようになって初めて回答率が 50%を超えたことは、これまで取り組んだ改善の結果として大きい。アンケート収集方法がオンラインになってからも一定水準の回答率を維持し、かつ、コロナ禍であっても (2021 年度後期を除く) 上昇傾向にあったのは、前述の教員による協力もさることながら、**教務課が学生ポータルを通じて、何度もアンケート依頼を行っている**ことである。今後も、回答率を上げるノウハウを共有して、学生ポータル等を通じたアンケート依頼を継続してほしい。

○学生の回答率がそれでも 50.6%に留まることは課題である。さらなる改善が求められ、教授会やメール等での教員への協力依頼、学生ポータル等を通じた効果的なアンケート依頼の継続が必要である。そのため、今後も回収状況の分析を行うことが肝要である。

○アンケートのオンライン実施は継続する。ペーパーレス化、学生のデジタル化への対応や、匿名性を保持しつつ回答者を GPA や入学時入試種別と紐づけることで、「成績上位者は〇〇に不満を持っている」といった分析などが可能となる。**本学での IR 活動の本格化が期待されるが、授業アンケート結果はそのローデータとして意義がある。**

授業アンケートの設問 1. ～9. (「授業評価アンケート設問 2023」参照) の回答状況については「2023 前期授業アンケート全体集計」を参照されたい。以下、一部に前回 (昨年度前期) との比較を示して補足する。

設問 1. 【板書・パワーポイント・資料は分かりやすいか (読みやすいか)】

○「とても分かりやすい」「やや分かりやすい」と回答した割合は 72.5%であり、「とても分かりにくい」「やや分かりにくい」と回答した割合 11.5%を上回っている。前回アンケートの結果 (「分かりやすい」「やや分かりやすい」と回答した割合は 71.2%、「とても分かりにくい」「やや分かりにくい」と回答した割合 11.8%) と比較すると、肯定的評価は微増、否定的評価は同水準である。

○学科別での肯定的回答は、経済学科 66.1%、公共政策学科 75.5%、スポーツ経営学科 69.6%、情報メディア学科 76.3%、看護学科 77.4%で、否定的回答は、経済学科 15.8%、公共政策学科 12.7%、スポーツ経営学科 11.7%、情報メディア学科 9.6%、看護学科 9.9%である。特に経済学科を担当する授業で、分かりやすい板書・パワーポイント・資料の提供に課題がみられる。

○板書に関する自由記述では、「マーカー入りの資料は復習するのに使えたし、板書事項の

振り返りにもなったので助かった」「図を用いた板書での説明が、とても分かりやすかった」「大事なところは色を変えて板書してくれるのでよかった」などの肯定的な感想が多い。これに対して、「語りが多く、かつ板書等を使用しないため要点がわかりづらく、内容を理解しにくい場合があった」「板書の字が小さいし汚くて読みづらい」「板書の際字が読めないことが多々あったのでそこは改善して欲しい」などの感想も散見された。各教員はこの感想を見ているはずであり、是非、真摯に改善してほしい。

設問2.【教員の話し方・説明は分かりやすいか】

○「とても分かりやすい」「やや分かりやすい」と回答した割合は 74.7%であり、「とても分かりにくい」「やや分かりにくい」と回答した割合 11.3%を上回っている。前回のアンケートの結果（「とても分かりやすい」「やや分かりやすい」と回答した割合は 75.3%、「分かりにくい」「やや分かりにくい」と回答した割合 11.4%）と比較すると、肯定的評価が微減となった。

○学科別での肯定的回答は、経済学科 67.3%、公共政策学科 78.1%、スポーツ経営学科 74.0%、情報メディア学科 78.0%、看護学科 76.4%で、否定的回答は、経済学科 15.9%、公共政策学科 10.0%、スポーツ経営学科 10.7%、情報メディア学科 11.2%、看護学科 10.5%である。特に経済学科を担当する授業で、分かりやすい話し方・説明への配慮に課題がみられる。

○自由記述では、「わかりやすい説明で理解することができた」「話し方がわかりやすい」「先生の話し方は、頭に入りやすくて楽しかった」「先生の説明がわかりやすいし、前回の復習があった」などの肯定的な感想が多い。これに対して、「声が小さい」「はっきり話してほしい」などの不満が依然としてある。各教員はこの感想を見ているはずであり、是非、真摯に改善してほしい。

設問3.【授業に集中するための環境（私語、遅刻、途中退室が無い状況等）は保たれているか】

○「とてもよく保たれている」「ある程度保たれている」と回答した割合は 80.5%であり、「全く保たれていない」「あまり保たれていない」と回答した割合 5.4%を上回っている。前回アンケートの結果（「とても保たれている」「ある程度保たれている」と回答した割合は 85.6%、「全く保たれていない」「あまり保たれていない」と回答した割合 3.4%）と比較すると、悪化したと言わざるを得ない。コロナ明けの授業環境について、再度対応し直す必要がある。

○学科別での肯定的回答は、経済学科 79.2%、公共政策学科 85.5%、スポーツ経営学科 77.7%、情報メディア学科 81.3%、看護学科 84.2%で、否定的回答は、経済学科 5.5%、公共政策学科 3.7%、スポーツ経営学科 4.8%、情報メディア学科 4.8%、看護学科 3.9%である。

○「授業をしている時に私語がうるさい人が多くいた」「私語の注意が少なく集中出来ない」などの不満が一部にあった。指定席に関しては、「指定席になったので私語が減っているのでもいいと思った」とする一方で、「指定席に座らず隣同士で座っている人が私語でうるさかった」という感想があった。

設問4.【学生の理解を確認しながら授業が進められているか】

○学生の理解が「確認されていない」と回答した割合は7.7%であり、前回アンケートの結果8.3%より改善された。複数回答可の選択においては、「前回（過去）の振り返り」（35.8%）や「小テストや課題」（32.2%）による理解確認の方法が多かった。

○振り返りに関する自由記述では、「振り返りの時に、文章問題などの例が出されていたので、復習に役に立った」「授業の終わりに振り返りクイズがあるのが良かった」「小テストなどがあって授業の振り返りができた」などの肯定的な感想が多い。一方で、「振り返りが全くなく内容の再確認をすることすらなかった」に代表されるように、振り返りを望む回答が散見された。「小テストや課題」「前回の振り返り」が、設問5.【授業に意欲的に参加したか】、設問6.【授業はどの程度理解できるか】、設問7.【授業に参加してどのように感じているか】の評価に関係することが、自由記述から読み取れる。

設問5.【授業に意欲的に参加したか】

○「とても意欲的である」「ある程度意欲的である」と回答した割合は82.3%であり、「全く意欲的でない」「あまり意欲的でない」と回答した割合3.8%を上回っている。前回アンケートの結果（「とても意欲的である」「ある程度意欲的である」と回答した割合は84.9%、「全く意欲的でない」「あまり意欲的でない」と回答した割合3.4%）と比較すると、肯定的評価が減少となった。

○学科別での肯定的回答は、経済学科78.0%、公共政策学科86.6%、スポーツ経営学科89.3%、情報メディア学科82.0%、看護学科89.7%で、否定的回答は、経済学科4.4%、公共政策学科3.1%、スポーツ経営学科4.7%、情報メディア学科4.3%、看護学科1.6%である。特に看護学科で授業への意欲的参加が突出している。

○自由記述では、「毎回、課題があることで意欲的に取り組めた」「質問に何度行っても丁寧に答えて頂いたので意欲的に学ぶことができた」「小テストがあり勉強に意欲が湧いた」など肯定的な感想があった。これに対して、「内容が推測、考えなどあやふやなものが多く、覚えはするものの、意欲的にはなれなかった」などの不満があった。また、「課題や小テストがあったほうが理解度や授業への意欲が上がると思います」との意見もあった。

設問6.【授業はどの程度理解できるか】

○「とても良く理解できる」「ある程度理解できる」と回答した割合は77.6%であり、「全く理解できない」「あまり理解できない」と回答した割合5.9%を上回っている。前回アンケートの結果（「とても理解できる」「ある程度理解できる」と回答した割合は78.8%、「全く理解できない」「あまり理解できない」と回答した割合7.0%）と比較すると、肯定的評価、否定的評価ともに微減となっている。

○学科別での肯定的回答は、経済学科75.2%、公共政策学科82.4%、スポーツ経営学科75.5%、情報メディア学科78.2%、看護学科80.6%で、否定的回答は、経済学科7.1%、公共政策学科4.6%、スポーツ経営学科6.3%、情報メディア学科6.8%、看護学科3.8%である。

○自由記述では、「教科書の内容をもっとわかりやすくした資料を提示してくれたことで理解するのが早くなった」「練習問題などで理解度の確認をしてくれてより理解度が深まりました」「資格試験で出題されるところをピンポイントで教えていただけて、理解できるだけ

ではなく頭に入ってきている」という授業方法に関するものと、「先生の熱意が感じられ、質問にも丁寧に答えていただき理解が進んだ」などの教員の姿勢に関するものに大別されるが、前者の方が多い。特に、「前回授業の振り返り」や、「具体的な事例説明」に関する肯定的な感想が多い。小テスト（確認テスト）に対する否定的な感想は皆無であり、自己の理解が進む点で、小テスト（確認テスト）の実施は、「小テストがあったので理解ができた」など、学生から高く評価されている。これに対して、「授業内容が分かりにくい」「全く理解できない」などの不満も散見される。理解できていない点はどこなのかを把握するなど、学生とのコミュニケーションが不足していることが原因ではないかと、自由記述から読み取れる部分があった。

設問 7.【授業に参加してどのように感じているか】

○「とても満足」「やや満足」と回答した割合は 76.3%であり、「とても不満」「やや不満」と回答した割合 5.4%を上回っている。前回アンケートの結果（「非常に満足」「まあまあ満足」と回答した割合は 78.7%、「非常に不満」「やや不満」と回答した割合 5.0%）と比較すると、満足度はやや下がった。

○学科別での肯定的回答は、経済学科 65.8%、公共政策学科 79.8%、スポーツ経営学科 74.5%、情報メディア学科 76.9%、看護学科 82.1%で、否定的回答は、経済学科 6.7%、公共政策学科 4.0%、スポーツ経営学科 5.6%、情報メディア学科 6.3%、看護学科 4.1%である。

○自由記述では、「実習の際まず学生に考えさせるという時間が設けられることが多く、自分たちで考え行動するということは非常に自分のためとなり満足ができた」「講義時間が適切で、意欲を持って集中力を保ちながら受けて本当に満足して講義を受けられた」などの肯定的な感想が多い。授業内容よりは、授業方法に関する肯定的な感想が多いのが特徴である。これに対し、「遅刻者を許してしまう環境があることに不満を感じた」「レジュメを読み上げているだけなのでつまらない」などの不満もあった。しかし、昨年までのような教員態度を不満に感じている意見は激減した。

設問 8.【予習・復習を毎回平均してどの程度行っているか】

○「1 時間以上」「30 分～1 時間程度」「30 分未満」と回答した割合の合計、すなわち予習・復習を行っている割合は 62.8%であり、「ほとんどしない」と回答した割合は 37.2%であった。前回アンケートの結果（「1 時間以上」「30 分～1 時間程度」「30 分未満」と回答した割合の合計は 66.3%、「ほとんどしない」と回答した割合は 32.4%）と比較すると、予習・復習を「ほとんどしない」割合が 1/3 を超えたことは由々しき事態である。

○「ほとんどしない」と回答した学科間割合は、看護学科（19.7%）、情報メディア学科（31.6%）、経済学科（33.6%）、公共政策学科（41.1%）スポーツ経営学科（48.8%）である。ほとんど予習・復習を行っていない割合が多い学科は、学科会議等で早急に対応されたい。

設問 9.【この授業で興味・関心を持てるようになったか】

○本年度からの質問項目である。

○「大いに持てる」「持てる」と回答した割合は 73.0%であり、「全く持てない」「あまり持

てない」と回答した割合 6.8%を上回っている。

○学科別での肯定的回答は、経済学科 65.8%、公共政策学科 77.0%、スポーツ経営学科 70.4%、情報メディア学科 74.2%、看護学科 80.1%で、否定的回答は、経済学科 9.2%、公共政策学科 4.4%、スポーツ経営学科 8.7%、情報メディア学科 6.7%、看護学科 2.8%である。特に看護学科で授業への興味・関心度が突出している。関心度が低かった学科は、授業内容や3年後のカリキュラム改正に向けて、今から議論を深めていただきたい。

設問 10.【この授業で大変良かったと思われる点】

- ・振り返りの時に、文章問題などの例が出されていたので、復習するときに役に立った。
- ・授業に関連する動画を見ることで、とても理解がしやすいと思いました。
- ・資料が見やすかったのと、話し方も聞き取りやすかったです。
- ・教科書の内容をもっとわかりやすくした資料を提示してくれたことで理解するのが早くなった。
- ・小テストがあったので、自分が覚えられているかいないのかを確認することができた。スクリーンに映し出されるので、自分も同じようにテキストにメモをすることができた。後から確認したりする時に役に立った。
- ・これからの自分の将来にとっても役に立つことを学ぶことができたのでよかったです。この授業で学んだことを忘れずにこれからの自分の将来に活かしていけるように頑張りたいです。
- ・この授業で、分からないことがあったら質問をして、その時に先生がすぐさまヒントを教えてくださいました。点が大変良かったです。
- ・小、中学生の頃、スクラッチを使った授業があったのですが、1ミリも理解できず嫌いでした。大学に入りスクラッチの授業があると知り、理解できるかが不安だったのですが、説明がわかりやすく一瞬で嫌なイメージは払拭されました。
- ・楽しげに講義してくださるので気持ち的に楽です。
- ・全員に問いかけることで一人一人を授業に引き込む集中させようとする方法が良いと思った。
- ・模擬授業のフィードバックなど、わかりやすく丁寧にしてくれてよかったです。
- ・先生が生徒のやる気を引き出すような授業をしていた。
- ・先生が実際に見本を見せてくださるのでとても分かりやすかったです。
- ・板書での説明と分かりにくいことを分かりやすく教えていただき、これから生きていく中で必要な法に関するのことをしっかりと理解することができたのでよかった。
- ・反転授業という新しい授業形式でびっくりしました。自分のタイミングで動画が見られたので良かったです。
- ・この授業で学んだことをこれからの大学生活や自分の将来に役に立てるように忘れずに、自分の中に大切に覚えておきたいです。
- ・自分が知らなかったこともたくさん知れたし、いい経験になりました。
- ・計算問題の応用を多く課題に取り入れられていたため理解へのスピードが早まった。
- ・授業では、何度も前回の授業の復習を行っており、そこから深く理解することができたので、続けてほしいと思いました。
- ・理解するまで何度でも教えてもらえました。

- ・資料が見やすく先生の声も聞きやすくとても快適な授業でした。
- ・毎授業後小テストがありしっかり授業聞いていないといけない状況にあるのでいいと思った。
- ・自分で事業の企画を考えるのは初めてだったが、どのようにすれば人が集まるか、参加してもらえるかなどを考えるのが楽しかった。
- ・アイスブレイクが多くて、実践を通して学べたところ。
- ・過去問による練習問題は、授業を聞いていないと解けない問題のため、授業を受けている人と受けていない人で明確な差が生まれるシステムは評価される側としてはありがたい。など、多数

設問 11. 【この授業で工夫・改善してほしい点】

- ・課題に対するフィードバックがないので自分がやっている事があっているのかわからなかった。
- ・部屋を暗くしてスライドを見やすくしてほしいです。
- ・周りがうるさく集中できる環境じゃないのにあんまり気にせず説明を続けること。
- ・声が小さく聞き取りづらい。
- ・30 分以上遅刻している人も出席になっていたのはどうかと思う。遅刻してくる人は毎回同じ人だった。
- ・早口で聴き取れないところが多かったので、はっきり話してほしいです。
- ・学生ポータルに送られる授業資料の配信期間を一週間ではなく 1 ヶ月程にして欲しい。
- ・集中していない学生に対して声を大きくし注意するのは良いが、全員集中している時にでかい声を出すのをやめて欲しい。
- ・事例を提示してもらえることで理解はしやすいですが、時間を大幅に取ることで本題の時間が短くなってしまっています。本題を終えてから事例を提示するのはどうでしょうか？
- ・先生間でおっしゃっていることが違っていたり、全員に情報が回っていなかったりすることは少々気になっていました。丁寧に教えてくださる先生もいれば何も言わない先生もいて、指導内容の偏りが激しすぎる。など

以 上